



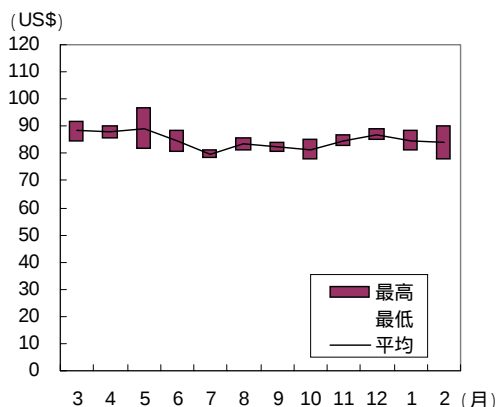
TOKYO NEWS FLASH

米国食肉輸出連合会 (USMEF)
Volume 235 February 28, 2003

米国食肉市場ニュース

～ 牛肉 ～

去勢牛の 100 ポンド (約 45kg) 当たりの価格
(オクラホマシティー・体重 600～700 ポンド)



資料 : Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain

注 : 1. 2002年3月～2003年2月までのデータ
2. 該当月の第1週のデータより作成 (2002年9月および2003年1月を除く)
3. 2002年9・11月はイヤリングビーフ (若齢牛) による
4. 2002年12月は体重650～700ポンドのイヤリングビーフ (若齢牛) による

牛肉市況 (2月17～21日)

● 週間と畜頭数 :

61万8,000頭 (前年比 3.9%減)

● 牛肉・子牛肉の輸出動向 (2002年) :

24億4,700万ポンド (約 110万8,500トン) で、前年比 7.8%増、2000年比 2.7%減 (2000年は過去最高の 25億2,000万ポンド [約 114万1600トン])。輸出先上位4カ国の動向は以下の表を参照。最大の輸出相手国である日本では、2001年9月のBSE発生以降、国内の消費量が激減。これを受けて、輸出全体に占める対日輸出の割合は、14年間4割以上を保っていたが、31.5%と大幅に減少した。なお輸出高は、米国の牛肉・子牛肉総生産高の9.0%に相当する。

国名	輸出高の増減 (前年比)
日本	-23.2%
メキシコ	+18.3%
韓国	+72.9%
カナダ	+3.1%

● 2003年の年間累積と畜頭数・牛肉生産高

(2月第3週まで) :

ともに前年比約 1.5%減。枝肉重量は前年に近い水準で推移している。生産高は若干落ち込んではいないが、100ポンド (約 45kg) 当たりの肥育牛価格は前年比 10ドル高で、今のところ、牛肉需要は堅調と見られる。

● 牛肉の枝肉相当価格 (1ポンド [約 0.45kg] 当たり) :

ボックス・ビーフは軟調だが、フィードロットの売り渋りを受けて値を上げた。チョイスは前週比 1.25ドル (前週比 1.34セント安) だが、セレクトは 1.19ドル (同 0.95セント安)。

● 主要5地域の去勢牛の取引価格

(100ポンド [約 45kg] 当たり) :

2月20日までの平均価格は、生体ベースで 79.63ドル (前週比 1.87ドル高) 枝肉重量ベースで 122.86ドル (同 0.46ドル高)。

オクラホマシティーにおける去勢素牛の体重別、100ポンド (約 45kg) 当たりの価格 (US\$)

体重 (ポンド)	2月17～21日
400～500	97.50～107.00
500～600	87.75～100.50
600～700	79.00～88.25
700～800	76.00～80.75
800～1000	72.00～77.50

(Cattle-Glenn Grimes & Ron Plain, 2/21/2003)

主要 12 州¹のフィードロット²内頭数、 前年比 8%減（2003 年 2 月 1 日現在）

* 出典データの変更に伴い、今号から主要 7 州に代わって
主要 12 州の数値を掲載いたします。ご了承ください。

	2003 年 ³	対前年
1 月 1 日現在フィードロット内頭数 ⁴	10,258 ⁴	92%
1 月導入頭数	2,060	97%
1 月出荷頭数	1,902	94%
1 月のその他の消失 ⁵	70	83%
2 月 1 日現在フィードロット内頭数 ⁶	10,343	93%

注：1. アリゾナ、カリフォルニア、コロラド、アイダホ、アイオワ、カンザス、ネブラスカ、ニューメキシコ、オクラホマ、サウスダコタ、テキサス、ワシントン。

2. 収容頭数1000頭以上。

3. 単位：1000頭。

4. 穀類あるいは他の濃縮飼料を主食とし、セレクト以上として肥育される、と畜用の牛、子牛。

5. 死亡、放牧場への移動、他のフィードロットへの移動など。

6. 改訂。

（USDA's Cattle on Feed, 2/14/2003）

～ 豚肉 ～

豚肉市況（2 月 17～21 日）

● 週間と畜頭数：

187 万 9,000 頭（前年比 1.6%増）

● 年間累積と畜頭数（2 月第 2 週までの 6 週間）：

前年比 2.4%増。この間の経産豚のと畜頭数は同 4.7%増だが、経産豚の在庫頭数に占める割合で見ると同 8.2%増。このことから、繁殖頭数の縮小が続いていると見られる。

● 豚肉の輸出動向（2002 年）：

前年比 3.5%増の 16 億 1,400 万ポンド（約 73 万 1,100 トン）で、11 年連続で過去最高を記録。輸出先上位 3 カ国（下記の表を参照）への輸出高が全体の 79%を占め、特に対日輸出高は全体の 48%にのぼる。対ロシア輸出は前年比 49.7%減、対韓国輸出は同 83.1%。なお輸出高は、米国の豚肉総生産高の 8.21%に相当する（過去最高）。

国名	輸出高の増減（前年比）
日本	+4.6%
メキシコ	-1.5%
カナダ	+1.8%

● 肉豚の取引価格（100 ポンド [約 45kg] 当たり）：

末端市場で、前週比 0.25～1.00 ドル安で取引。

主要市場における 100 ポンド（約 45kg） 当たりの最高価格（US\$）

	2 月 21 日
ベオリア	33.00
セントポール	33.00
スーフォールズ	33.50
ミズーリ中央部	31.75

185 ポンド物（約 83.5kg）の枝肉平均価格（US\$）

	2 月 21 日
東部トウモロコシ地帯	43.77
西部トウモロコシ地帯	45.04
アイオワ・ミネソタ	45.04
全国	44.47

1 ポンド（約 0.45kg）当たりの豚肉の製品価格 （2 月 21 日正午 / US セント）

製品名	価格 （前週比増減）	備考
ロイン	96.83 （-3.74）	21 ポンド（約 9.51kg）以下、トリム 1/4 インチ
ボストン・バット	54.00 （-4.00）	
ハム	45.00 （-1.00）	17～20 ポンド物 （約 7.70～9.06kg）
ポークベリー	80.00 （+0.00）	12～14 ポンド物 （約 5.44～6.43kg）

（Hogs—Glenn Grimes & Ron Plain, 2/21/2003）

業界ニュース

景気の低迷にも関わらず、牛肉需要は堅調

牛肉需要は 2000 年に比べて 3%強、最低を記録した 1998 年度と比較すると 10%近く増加していることが、2003 年の畜牛業界年次総会および見本市で発表された。

消費者レベルの牛肉需要は、供給量が過去最高に達したことや、主要貿易相手国への輸出低迷、不況にも関わらず、好調であることが、昨年末に発表された需要速報で示唆されている。

牛肉需要は 1998 年以降増加を続けてきた。家畜生産者牛肉委員会によると、2004 年までに牛肉需要を 6%アップするという目標は、順調に達成されそうだという。一方で業界は、消費需要が伸びるに従って、牛肉への消費者の信頼の維持、消費者の視点に立った製品の開発、輸出市場の拡大に取り組まなければならないとも説明している。

（MEATing Place, 2/04/2003）

食品安全ニュース

業界と消費者、電磁波照射への信頼アップ

電磁波照射は1963年以来、小麦粉に含まれる微生物の殺菌に使用されており、1983年からは一般家庭用の香辛料にも使われている。しかし、牛挽肉の殺菌に導入されるようになったのを期に、その安全性を巡って消費者団体と食肉業界や科学者との間で議論が巻き起こった。

しかし昨年8月以来、電磁波照射済みの牛挽肉を販売する大手食品小売チェーンは、毎週のように増加しており、現在のところ合計約4,000店舗のスーパーマーケットが電磁波照射済みの生または冷凍の牛挽肉を販売している。電磁波照射技術の最大手、シュアベーム社が今年電磁波照射を行う牛肉の量は、昨年の約1,500万ポンド(約6,795トン)から急増して3億~3億5,000万ポンド(約13万5,900~15万8,600トン)になる見込み。また、全米家畜生産者牛肉協会(NCBA)が11月に行った全国調査では、電磁波照射済みの食肉を購入すると答えた人は、昨年2月の調査に比べて10%増え48%に上っている。

(NAMP, 2/04/2003)

(参考)

米国のレッドミート生産量¹(連邦検査を受けたもの)

(100万ポンド)

種別	2002	2002	2003	2003年1月(%)		1月累計 ²		
	1月	12月	1月	対2002年 1月	対2002年 12月	2002年	2003年	対2002年 (%)
牛肉	2,296	2,075	2,258	98%	109%	2,296	2,258	98%
子牛肉	16.4	17.4	17.3	105%	99%	16.4	17.3	105%
豚肉	1,698	1,694	1,731	102%	102%	1,698	1,731	102%
ラム/マトン	17.1	17.8	15.4	90%	86%	17.1	15.4	90%
レッドミート合計	4,027	3,804	4,022	100%	106%	4,027	4,022	100%

資料: USDA's Livestock Slaughter, 2/24/2003

注: 1. パッカーの枝肉重量に基づく。農場でのと畜は除く。

2. 切り上げ、切り捨てなしのデータに基づく累計および比率。